

126」2の 広場

2025. 1

新年の挨拶

院長 宇留野勝久



新年明けましておめでとうございます。令和七年は乙巳(きのとみ)です。十干は木の弟、十二支は蛇ですが、乙は草木が春の陽気にまだ縮こまっている様子、巳は草木が伸び切った様子を表すそうです。並べると、寒さに震える中に春の陽気が兆し、これから伸びて行くのを予見するようになりますか。

去年は庚辰(かのえたつ)、芽吹いて草木の形が整った様を表していましたが、芽を吹くのは何も良い事ばかりではなかったようです。世界でも、日本でも、山形でも、当院でも様々な事が起きました。辰年は変革の年と言われますが、正に災厄と言えるような出来事が続きました。しかし、青天の霹靂(英語でもOut of Blueですが)にも原因があります。芽が出るのは地中の種や根があるからこそ、温度が上がリ雨が降って発芽し姿を現すのです。今年は、善行の芽を育み、悪行の根を断つ事を心掛けたいと思います。まずは自分の心から、是非を問う事を始めねばなりません。

それでも、去年は大谷翔平選手がMLB史上初の50-50を達成したり、被団協がノーベル平和賞を受賞したり、希望の光となる出来事もありました。どちらも偶然や幸運ではなく、不断の努力の賜物です。倦まず弛まず、日々良い行いを続ける以外には明るい未来は無いのだと、肝に銘じた新年です。



ミッション

・患者さんに優しく信頼される医療で社会に貢献します。

ビジョン

- ・神経難病(てんかんを含む)、重症心身障がい、リハビリテーション、結核、高齢者に対して良質な医療を提供します。
- ・医療連携を密にして地域に開かれた医療を目指します。
- ・良き医療人として知識・技術と人間性を養い常に自己研鑽に努めます。
- ・医師、看護師等の人材を確保し健全な経営基盤を構築します。

目次

●秋のつどい 10・11月誕生会	2
●成人・還暦を祝う会 11月	3
●第18回山形県高次脳機能障がい者リハビリテーション講習会	4
●第16回青年共同宿泊研修	4
●誓いの式を終えて/職場紹介	5
●年男・年女より新年のご挨拶を申し上げます	6
●秋のつどい スペシャルランチ	7
●外来担当表/編集後記	8



空は深く澄み渡り、爽やかな季節となった10月。重症心身障がい病棟では、病院行事“秋のつどい”が開催されました。今回は、『～ゴーストのつどい～遊んで踊ってハッピーハロウィン!』と題し、国際的な文化に親しむことを目的として、ハロウィンをテーマにお祝いを行いました。会には、魔法使いのミッキーマウスの衣装を身に着けた平川事務部長、ジャックオーランタンのマントに身を包んだ高橋看護部長が駆けつけてくださり、また、両病棟の看護師長も黒いビニールドレスを身にまとった魔女の姿で登場し、会の始まりを盛り上げてくださいました。まず始めの活動ではメキシコが発祥とされる、ピニャータ割り！くす玉をたたいで割り、悪いものを追い払うというものです。カボチャやモンスターの姿になったカラフルなピニャータをみんなで叩いていくと、中から美味しそうなキャンディーやドーナッツがたくさん出てきました！「トリックオアトリート！」の掛け声と一緒に師長魔女たちがお菓子を集めに周り、収穫のお祝いを行いました。続いての活動は、利用者様の頭上に張り巡らされたクモの巣をめがけて、クモを飛ばしていくスパイダーゲーム。クモたちはパチンコ式の機械にセットされると、元気よく飛び出して巣に張り付いていきます。中には豪快に手で掴み、思いきり投げて飛ばす方もいました。無事にクモたちが家に帰って一安心。最後に師長率いるゴーストに扮した看護師、指導室スタッフがハロウィンの音楽に合わせて登場し、利用者の皆様と触れ合いながら踊りを披露しました。賑やかなパーティーの雰囲気を味わい、会場にいる皆に笑顔が溢れました。会の最後には栄養科より献立の発表をしていただきました。今回も山形病院のシェフ達がテーマにちなんだ献立を考案し、腕を振るってくださいました。レストランのランチのような豪華なメニューとなり、昼食の時間も会の余韻に浸りながら、胸が弾む時間となりました。



HALLOWEEN



成人・還暦を祝う会

11月

療育指導室 保育士 加藤 優花

夜空の月も冴えわたる季節となりましたが、重症心身障がい病棟では成人・還暦を祝う会が行われ今年各病棟2名、計4名のご利用者がお祝いの人生の節目を迎えられました。想いを、人生を、未来を、ともに、『紡ぐ』。様々な繋がりを感じて頂きたく今回はこのようなテーマを掲げさせて頂きました。今年は参加条件が緩和され、ご家族一緒の席でお顔を見ながら過ごすことができました。会場の温かい拍手で迎えられながら入場した4名は、この日のためにドレスアップをし緊張した表情を見せながらも会が始まると引き締まったような表情に。開催にあたり家族会会長を始め役員の方々にもご出席頂き、ご家族、ご利用者、事務部長、看護部長含め和やかなひとときとなったように感じます。その中でもご家族とスタッフより愛情のこもった、心温まるメッセージを頂きそちらをじっと見つめるご利用者、出生からこれまでの歩んでこられた思い出をスライドショーで振り返り、涙ぐむご家族の姿が印象的でした。また、当日は会に出席できなかった2・3病棟のご利用者からもお祝いとして歌のプレゼントが贈られ、さらにスタッフより今回のテーマである“紡ぐ”に合わせ、中島みゆきの「糸」を披露しました。大切な節目と一緒に迎えられたこと、お祝いできたこと大変うれしく思います。今回のお祝いの会が皆様にとって特別なひとときとなり、新たなスタートとなれば幸いです。改めまして成人、還暦誠におめでとうございます！



第18回 山形県高次脳機能障がい者リハビリテーション講習会

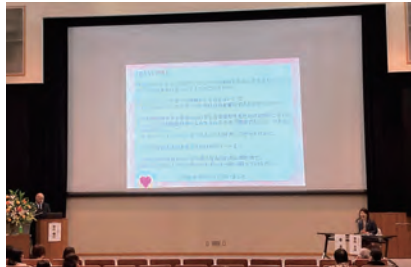
開催報告

医療社会事業専門員 須貝絋登美

11月30日(土)に山形ビッグウイングを会場に「第18回山形県高次脳機能障がい者リハビリテーション講習会」を開催しました。当事者やご家族、支援者の方々60名にご参加いただきました。

今年度は、仙台リハビリテーション病院作業療法士原田勝行先生より「見えない障害～支援者・当事者・家族、みんなが気づくことの大切さ～」という演題でお話いただきました。実際に活用されているチェックリストや宮城県での取り組みの紹介がありました。先生のユニークな人柄で楽しく話を聞くことができ、支援に関わる者として気づきの多い講演内容でした。また、「山形の声」として各地域の取り組みについて、置賜においては山形県梓園理学療法士戸田さん、庄内においては山形県庄内高次脳機能障がい者支援センターコーディネーター三浦さん、村山については通所教室暁才鬼澤指導員よりお話いただきました。今後も県内の関係機関と協力しながら頑張っていきたいと思います。

ご参加いただきました皆様
ありがとうございました。



第16回青年共同宿泊研修

5病棟看護師 新野 映見

今回私は、第16回青年共同宿泊研修に参加しました。国立病院機構の北海道・東北グループからメンバーが参加し、看護師だけではなく、リハビリや薬剤師、事務など様々な同年代の職種の方が参加していました。自然の家で寝食を共にし、交流を深め、各々の病院や職種による特色など情報交換をし、自分の所属する部署の強み・弱みを再確認できる貴重な機会となりました。この経験をこれからの業務に活かしていきたいと思います。



誓いの式を終えて

看護学校教員 原田 典子



第50回生36名は10月25日（金）に誓いの式を無事終えることができました。

誓いの式に向けて、何度も話し合いを繰り返し、練習を重ね、クラス一丸となり準備をすすめてきました。来賓や保護者の方々、病院職員、在

校生に見守られて、看護職を目指す意識が高まったと思います。これからも学習は続きます。クラス目標でもある時間管理、健康管理に留意し、クラスとしてのチーム力も高め、これから出逢う方々との縁も大切に、学生それぞれが目指す看護師になれるよう努力を重ねていきます。

職場紹介

2病棟

看護師長 遠藤 知子

2病棟は重症心身障がい児（者）病棟で、現在50名の患者さんが入院しています。医療、療育、生活の場でもある当病棟では、患者さんがいかにその人らしく、安全に楽しく療養生活を送ることができるかを考え、医師、看護師、児童指導員、保育士、リハビリなど、多職種が連携を図りながら、患者さん一人一人の生活の質を向上させることを目標に様々な支援を行っています。また日頃の患者さんとのかかわりの中でのいつもと違う変化や、気づきを大切に、持てる力に目を向けて援助しています。今後も一人一人の患者さんや御家族の思いに寄り添った看護に心がけてまいります。



2025

年男・年女より新年のご挨拶を申し上げます。



2病棟看護師 今田 早紀



新年あけましておめでとうございます。
 去年は、受け持たせていただいた患者さんの看護計画を立案、実施し、その学びをまとめて発表しました。患者さんの状態は日々変化するため、その変化に応じて援助を考え実践していくことが大切だと学ぶことができました。今年は去年の学びを活かし、よりよい看護を行っていきたいと思います。

事務部 企画課 軽部 琉郁



あけましておめでとうございます。
 今年は巳年、新しいことが始まる年だと言われています。「蛇は一寸にして人を呑む」という小さな力でも油断できない事を意味することわざのように、小さな変化が大きな成果に繋がることを願い、社会人四年目の今年は、新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢で取り組んでいきたいと思っています。
 今年もどうぞよろしくお願いいたします。

副調理師長 安達 靖彦



新年あけましておめでとうございます。
 勤め始めて早くも40数年、還暦を迎えます。
 やっとコロナ感染症も治まり、平穏な日常を取り戻す事が出来るようになりました。
 40年前は、まだ病棟配膳で私たち調理師が看護師さんと看護学生とともに盛り付けをしていました。カッター食やミキサー食、軟食は無かった時代でした。その後、嚥下食でムース状に固めた食事が始まり、今に至っています。
 今年で定年を迎えますが、健康に気をつけていきたいと思っています。

副調理師長 佐藤 公重



新年あけましておめでとうございます。
 時の流れは早いもので今年還暦を迎えます。
 今年は巳年です。新しく生まれてくるや、将来・未来があるなど契機になる年と言われたりしているようです。
 今年は新しいことにも挑戦しながら、巳のように将来、未来が明るく飛び跳ねて様々な問題に負けないように頑張っていこうと思います。

秋のつどい スペシャルランチ



栄養管理室 調理師長 木村 誉

2024年10月9日に提供した秋のつどい
スペシャルランチメニューです。
今年のテーマは「ハロウィン」です。
会場内は笑顔いっぱい盛り上がり、
食事も皆さん完食し楽しい様子でした。



秋のつどいスペシャルランチ

Happy Halloween

- チーズハンバーグ テミグラスソース
- 秋の野菜添え
- トマトとブロッコリーの彩りサラダ
- バターライス
- チンゲン菜とベーコンのコンソメスープ
- スペシャルハロウィンデザート

2024年10月9日
山形病院栄養管理室



軟菜食
(一口大の料理)



移行食
(1cm角 軟らか料理)



嚥下食
(ゼリー状の料理)



一般食



嚥下食



スペシャル
ハロウィンプリン

国立病院機構 山形病院 外来診療担当表

令和6年11月1日

区分	月	火	水	木	金	備考
脳神経内科 (頭痛・めまい・しびれ)	亀谷紫芙美	小山 信吾 (隔週)	山川 達志	亀谷紫芙美	黒川 克朗 (隔週)	9:00~12:00
	宮林 隆夫	川並 透 (隔週)	黒川 克朗	小山 信吾	川並 透 (隔週)	
		小林 和夫	川並 透	加藤 丈夫	小林 和夫	
認知症外来	※	—	—	—	※	12:30~16:00 ※当院脳神経内科医対応
呼吸器内科	—	布宮 慶子	寺下 京子	—	寺下 京子	9:00~12:00
循環器内科	八巻 通安	太田 郁郎	—	—	—	月曜日 9:00~12:00 火曜日 13:00~16:00
精神科	—	—	齋藤 裕介 <山形大>	—	—	9:00~12:00
てんかん科	守川 新人	清水 洋	宇留野勝久 守川 新人 清水 洋	守川 新人	清水 洋	9:00~12:00 (水曜日は新患)
	—	—	—	—	宇留野勝久	14:00~15:00 (第1・2月曜日15:00~16:00)
リハビリ テーション科	—	豊岡 志保	—	豊岡 志保	—	9:00~12:00
脳神経外科	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	9:00~12:00
手話外来	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	朽木 秀雄	9:00~15:00
整形外科	永井 惇 <山形大> (第2・第4)	—	—	—	村松 希信 <山形大> (第2・第4)	9:30~12:00
放射線科	—	桐井 一邦 <山形大>	—	—	鹿戸 将史 <山形大>	13:30~16:00
歯科	加藤 肇	—	<山形大>	<山形大>	—	月・水曜日 14:00~16:00 木曜日 13:30~16:00
高次脳機能 障がい科	—	—	—	鈴木 匡子 (隔週) <東北大>	—	9:30~12:30 予約窓口:高次脳機能 障がい者支援センター TEL.023-681-3394
糖尿病外来	—	—	—	<山形大>	—	9:00~12:00
耳鼻咽喉科	—	—	—	<山形大>	—	15:00~
皮膚科(※)	—	—	—	—	荒木 由梨 <山形大>	※病棟対応のみ(第2・第4金曜日)

※学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

- ◆初診受付: 平日8:30~11:30
- ◆再診(予約外)受付: 平日8:30~11:30
- ◆休診日: 土曜日、日曜日、祝日、
12月29日~1月3日
- ◆急患は随時受け付けますが、来院前に必ず
ご連絡ください。
(☎023-684-5566)
- ◆紹介状をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示ください。
- ◆地域医療連携室
(☎代表023-684-5566 / FAX023-681-9477)

編集後記

人々はせせらぎの音に心を癒してきました。なぜ、人はせせらぎの音に心を惹かれるのでしょうか？それは、せせらぎの音に「1/fゆらぎ」と呼ばれる規則性と不規則性が混ざり合ったリズムが含まれているからと言われています。このリズムは、自然界に多く見られ、人間の脳をリラックスさせる効果があるとされています。(M.H)



独立行政法人 国立病院機構山形病院

〒990-0876 山形市行才126-2
TEL023-684-5566(代)
FAX023-684-2519(代)
発行責任者 山川 達志
編集 山形病院広報誌編集委員会

